

鳥取を傘のまちに

国府町因幡の傘踊り保存会

傘踊りで地域貢献を

新緑のまぶしい6月5日（土）、国府町の雨滝で、恒例の滝開き祭が行われました。雨滝は日本の滝百選に選定されている山陰海岸ジオパークの重要な観光スポットです。高さ40以上の瀑布を背景に、勇壮な傘踊りの舞を奉納し、神事を盛り上げるのが「国府町因幡の傘踊り保存会」のみなさんです。滝昇る竜に見立てた瀑布と、雨乞い祈願の傘踊りに応えるかのように降り注ぐ水しぶき。可憐な鈴の音が清らかに響き渡ります。



田村 一郎 さん
Ichiro Tamura

「滝開き祭に出演するようになって30年経ちました。年々観光客も増え、地域の発展に貢献できることをうれしく思います」と語るのは、国府町因幡の傘踊り保存会で歌を務める田村一郎さんです。

田村さんと傘踊りの出会いは、中学生の頃、村の青年団に仲間入りし、先輩が伝承する傘踊りにふれたのが始まりでした。その後、旧国府町役場に勤務しながら今日まで50年近く傘踊りとともに歩んできました。現在は踊り手を退き、踊り子の身になった歌に専念しています。

雨乞い祈願が発祥のもと

因幡の傘踊りの発祥は、江戸時代末期の大干ばつの際、雨乞いをしたことが始まりとされています。現在の長柄の傘踊りは、明治時代中頃、村に賭博が流行し、若者が農作業をしなくなったことを憂いた当時の青年団長・山本徳次郎が、墮落した精神の立て直しを図り創始したものです。

その後、この華麗で勇壮な傘の舞は若者たちの心を広げ、たちまち他の村々へも広がっていききました。全盛期には百を超える団体が技量を競



雨滝を背景に舞を披露する国府町因幡の傘踊り保存会のみなさん

い合ったそうです。

当時は、初盆の供養や盆踊りが主な活動の場でしたが、戦後は社会の発展に伴い、活動範囲も広がり、今日では観光PRなどの舞台ですっかりおなじみとなりました。北は北海道の旭川から、南は九州の長崎、佐賀まで、また、海外は中国の北京やアメリカのニューヨークまでも遠征しました。また、本年7月1日から4日までの間、ロシアのウラジオストクにも行っています。

傘踊りの魅力



《7月の番組ガイド》

.....鳥取市行政番組.....

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週金・土

鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介しします。

【特集】

- ▷山陰海岸ジオパーク
- ▷砂丘除草ボランティア
- ▷夏のイベント（賀露みなとオアシス夏まつり、あゆ祭など）
- ▷食育らくらくクッキング（鹿野）



砂丘除草ボランティア

静止画文字情報

『鳥取市からのお知らせ』【放送】毎週日・月・水・木



イベント・募集・相談などの各種お知らせを、文字画面と音声でご案内します。

いなばぴよんぴよんネット
.....自主制作番組.....

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

ネットメロンやプリンスメロン、桃などの収穫の話題や、水稻の穂肥についての栽培技術情報を紹介しします。

地域情報番組『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月

小学校の新一年生の元気な学校生活の様子を紹介する「こんにちは一年生」や、中学生の職場体験の様子を紹介しします。

生活情報番組『ぴよんぴよんワイド』【放送】毎週火

子育てや健康をテーマに、暮らしに役立つ情報や話題をお届けしします。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で紹介しします。

地デジの準備をお願いします！

アナログ放送は平成23年7月24日に終了し、地上デジタル放送に完全移行しします。視聴方法など詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

情報をお寄せください！

いなばぴよんぴよんネット TEL 0857-22-6111

※放送予定は予告なく変更することがあります。
番組の放送時間は、ホームページまたはデジタル放送の電子番組表（EPG）をご覧ください。
<http://www.inabapyonpyon.net>



市制施行120周年・合併5周年記念式典のステージで因幡の傘踊りを披露する市立立宮ノ下小学校「傘踊りクラブ」のみなさん

田村さんに傘踊りの魅力を一言で表現していただくと、「3キロの重い傘を縦横無尽に振り回して風を起す迫力と勇ましさ、そして粋のよさ」

「笑」。

傘踊りは「文字踊り」とも呼ばれています。これは、「いろは」「おどれ」など、文字をかたどった振り付けですが、

時代に移り変わりや娯楽の変化とともに、傘踊りグループは、かつての2割程度まで減少してしまいましたが、幸いなことに田村さんのグループは今日まで元気に活動を続けています。

初盆のお宅に招かれたとき、家族の方が遺影をもってご覧になっている姿を見ると目頭が熱くなり、握るこぶしにも思わず力が入るとのこと。

だそうで、シャンシャンとテンプのよい鈴の音が鼓動に響き、見る人に元気が伝わるそうです。

鳥取の元気な女性に

国府町では、学校教育の一环に傘踊りを取り入れ、地域の子どもたちが日常的に傘踊りにふれあう機会を設けています。最近では、女の子のほろが熱心で元気だそうで、子どもたちからは、「卒業したら保存会に入りたい」との声もよく、後継者不足は心配ないそうです。

しかし、目下の悩みは、踊り子のほとんどがサラリーマンで、仕事との両立が大変なこと。若者にとっては仕事に優先。平日での出演となれば台所は苦しいそうです。「私は毎日が日曜日ですけどね」と田村さんは苦笑い。

田村さんの夢は鳥取を傘のまちにすることです。因幡の傘踊りをアレンジした「しゃんしゃん傘踊り」は、今や市の一大イベントに成長しました。

しゃんしゃん傘踊りと本家の本元のダイナミックな因幡の傘踊りとの中間になるような新しい傘踊りを考案し「鳥取の元気な女性に踊っていたきたいです」と田村さんの「鳥取を傘一色のまちにした」と夢はふくらみます。